

# トムトム通信

トムトムは  
ハンディのある方とご家族のための  
会員制のサービスセンターです。

TEL/FAX (0467) 58-8335

第 3 号 2000年5月発行

発行人：上杉桂子

## トムトム 2000 年度 スタートしました!

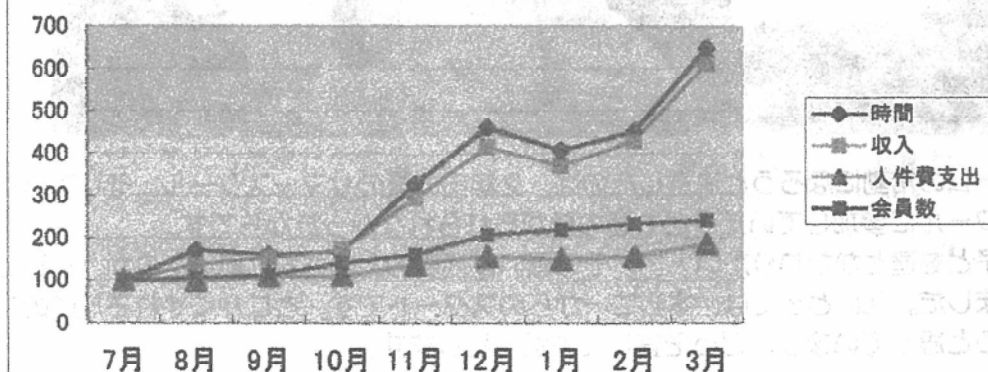


去る3月14日、茅ヶ崎市農協会館において、トムトムの初めての定例総会（99年度）が開かれました。総会では、運営委員より、99年度の事業報告がなされたのに続き、2000年度の事業計画、収支予算計画などが提議、承認されました。前半の報告では、ゼロからのスタートであったこのサービスが8ヶ月の間にじわじわと地域に浸透し、会員数が順調に伸びてきたこと。また、その反面、それをサポートする側の人員不足、また、拠点となる場所が手狭になりつつあることなど、問題点もいくつか指摘されました。

それをうけて、今年度はより安定したサービスの供給をめざし、常勤・非常勤スタッフの増員を図ること。第2の拠点となる場所の確保などが提案されました。料金体系の改定や、組織運営においても、監事や会計補佐、労務管理の担当を新たにおく事など、トムトムの事業拡大に適應できる体制をしくことが提案、承認されました。詳しい資料については、お問い合わせ下さい。(金)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働時間(時間)	134	228	215	222	436	615	543	601	864
利用件数(件)	38	35	58	69	124	143	129	149	183
利用料収入額(単位:¥1,000)	125	171	191	214	367	519	463	536	765
人件費支出額(単位:¥1,000)	306	300	333	335	419	474	453	471	558
会員数(人)	15	16	17	21	24	31	33	35	36

7月を100とした場合の稼働時間・収入・人件費支出・会員数の伸び率



## 今年度のトムトムのスタッフを紹介します。

- 常勤** 柏原正矢（O型）～介護支援専門員・ケアマネージャー・元入所施設職員  
" 山本奈央（O型）～児童指導員・福祉の世界に入って5年、こんな仕事があった！  
" 角田沙弥（O型）～保育系専門学校出身・茅ヶ崎生まれの茅ヶ崎育ち・20歳♪
- 非常勤** 後藤一恵（A型）～翔の会でも介助の非常勤をしています。  
" 小河恵理（B型）～藤沢市社会福祉協議会でボランティア経験あり。主婦です。  
" 松尾紀子（B型）～元養護学校教諭。ワゴン乗りまわすパワフルな行動力！！  
" 和田エンデルレ・マリア  
（A型）～福祉の仕事は10年ぶり。子育て経験生かして仕事します。  
" 大塚久香（A型）～つつじ学園でボランティア経験あり。主婦です。
- 運営委員** 《代表》上杉桂子・《副代表》田尻順子・《会計》藤田里恵  
金 泰 子・鈴木七子・高橋和江・原田香里・社会福祉法人「翔の会」  
柏原正矢・山本奈央

**角田沙弥さんが4月から常勤になりました。どうぞよろしく！！**

4月1日より常勤となりました「角田沙弥」と申します！  
1980年3月9日生まれのO型、20歳です。

趣味は寝ることです(笑)。  
一日中寝れます。  
大切なものは友だちです。  
好きな人はもちろん木村拓哉です♪

まだ少し学生気分が残っていたりもしますが、私なりに精一杯頑張ろうと思っていますので、皆様あたたかく見守って下さい。



私がトムトムの常勤になろうと決意したのは、2年前の夏のサマースクール、そして昨年の夏のサマースクールに参加していた子ども達の顔が忘れられなかったからです。  
もう一度、子ども達とかがわりたい・・・その思いが代表の上杉さんに届いたのか、常勤のお話をいただきました。私にとっては、本当に一からのスタートです。とにかくやれるだけのことをやっていこうと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

## 制度が変わる？何かが変わる？

～2000年2・4～6「しが」にて～



去る2月4日から3日間、滋賀県の大津プリンスホテルにて「アメニティフォーラム IN しが」が開催されました。全国各地に生まれた、「ひとりひとりを大切にする」地域支援のメンバーたちが一堂に集まる(700名も!)この大イベントに、トムトムからも代表・常勤の計2名が参加しました。「ポスターセッション」と銘打った、いわゆるアピールコーナーには、全国から

たくさんの事業所が立ち並びました。もちろん、我がトムトムも、まっきっきのパネルをバックに巨大トムじいをすえつけて、ここぞとばかりに目立ってきました。講演、シンポジウムは3日間で計8回。交流会にも出席し、今、地域支援がどういう方向に向かっているのか、そしてどんなポイントを軸にすえていくべきなのか、いろいろ考えさせられました。

今春より施行される高齢者への介護保険に引き続き、平成15年度には障害者の世界も措置制度から利用制度に移り変わっていきます。社会福祉法人「<sup>ていそ</sup>昴」の佐藤進氏は、『「行政にへつらいながら」福祉を实践していくことの姑息さを、もうそろそろやめになりたい。そのためにこの福祉基礎構造改革がいいチャンスになれば。』と語りました。また、この変化に対し、ともすれば「生き残り策」に偏りがちな施設やサービスセンター側の発想を、まず「利用者の満足度を優先させる方向に戻さなくてはいけない。」と主張しました。そうしたニーズにきちんと応えるサービス提供側の姿勢を見せていくことで、利用者に「自立と社会参加が可能になるんだ」という意識を高めてもらうことができます。そして、こうした意識の結集が、結局はサービスをシステム化し、根づかせる大きな礎(いしずえ)となるのです。

2日目のシンポジウムでは、先行している高齢者への地域福祉をテーマに、サービス提供者や厚生省職員の立場から、現状や今後の展開についての発表がありました。その中で、「利用する側にとって、地域の社会資源どうしの連携がいかにも必要とされるか、またいかにそれが困難な課題でもあるか」という発言が印象的でした。トムトムとしても、このことに関しては、周囲の事業所や法人とのネットワークを真剣に考えていく必要があるでしょう。障害者福祉が今後変化していく中で、高齢者福祉の今めざすところは私たちのサービスにとっても指針となるひとつの目安です。2日目の河幹夫氏(厚生省企画課長)や3日目の遠藤浩氏(同)による講演では、公的な立場から、行政が担うべき役割と今後の具体的な法整備の内容が明らかにされました。細かな取り組みについてはまだ流動的な部分もありますが、行政の責任として3つのポイントが提示されました。ひとつは『制度』として、利用者の人格を守ることを確約することであり、ふたつめは「そのための社会的費用の工面」、そして最後に「そういったサービスの供給基盤を作る」という点でした。現行のワンパッケージ・サービス(決まりきっ

た枠内でのサービス)からの脱却が、まず最優先の課題だということであり、そのための条件整備が今、着々と進められているようです。

話は変わりますが、2日目の夜、午後11時(!)から今回ポスターセッションに参加した地域事業所の交流会がありました。若〜い支援者達に交じってずっしりと自分のトシを実感しながら(?)、色々と情報交換してきました。(ウチんとはこ〜よ。オタクは?etc)最後にはフォーラム講師の福祉関係者や厚生省のお役人まで加わって、「頑張るぞ!」と檄を飛ばしあい、各地の地域支援の元気なパワーをひしひしと感じてきました。同じサービス提供者仲間として、また個人的には一当事者の親として、そういった人たちの熱意に、障害のある人たちの明るい未来がほんのりと見えてくる気がしました。

さて、最終日のシンポジウムでは、今、新しいかたちの福祉を実践している県や市町村から、「高い感覚」の福祉、つまりは「利用者本位のいかに使いやすい形のサービスを提供できるか」との発言がありました。埼玉県東松山市市長の坂本祐之輔氏は、自身が沈滞ムードにあった社会福祉協議会のトップに立ち、優秀な人材を投入して、365日24時間休みなしの巡回型サービスを立ち上げています。「首長の問題意識と実行力が、市町村の福祉のレベルを左右することは間違いない」(フォーラム資料・朝日新聞社説1999.10.17より)を地でいっているケースのひとつです。

フォーラム全体を通してのテーマは、「当事者の自己決定」と、それを具体的なサービスにむすびつける「地域力」でした。障害者福祉の問題は、ある一握りの人たちの問題と考えるのではなく、社会全体の中で捉えるべきスケールの大きな問題であり、それは必然的に地域づくり・国づくりにつながっていくと、シンポジストの誰もが主張していたように思います。「地域支援」「本人支援」サービスの果たす役割は、その一番小さな単位の基本形といえるかもしれません。まだまだこれからといった未知のサービス形態が、今後どのように各地で展開されるのか、またトムトムを振り返って思えば、こうした理念をどうしたら具体的に反映させていけるのか、色々と考えさせられた三日間でした。また機会があれば、ぜひこういったフォーラムやセミナーに参加して、トムトムの「これから」を模索していきたいと思っています。さあ、今年度も張り切っていこうと・・・!

(ええっと、トムトム運営?育児?ときどき家事もかな!?)

〔上杉〕



## トムトム会員のリレートーク!(第2回)

大野 裕子

はじめまして!

昨年秋からお世話になっている大野晋平です。

まだ、キャリアは短いのですが、密度が濃いため今ではすっかり“顔”になっていることと思います。さかのぼる事約5ヶ月前、突然我が家に色々なことが起き窮地に追い込まれ、まさに“藁をもつかむ”思いでトムトムの扉を叩いたのが始まりでした。

伺ってみると思いがけず(残念なことに今までの経験から福祉や子ども関係の施設は“古くて当たり前”という概念が焼きついていましたもので・・・)新しいお部屋にまず驚き、そのお部屋と同様に明るくアットホームで温かいスタッフに迎え入れていただき快く了解をいただけた事は“これぞ天の助け”と涙する思いでした。

その上今までのことを考えると“本当にこれでいいの?”と感じてしまうほど利用のための理由



も事情も時間も厳しい制約などなく、さらに“利用者のニーズに合ったサービスの供給”“その家庭に応じた利用”等を理念とされていると聞き、本当に嬉しく思いました。まさに願っても無い（実はこういう環境を切望していたのですが）環境です。そして今ではそれにすっかり甘えて我が家の息子は、放課後ほとんどトムトムでの生活です。色々楽しい企画を考えてくださったり、連れて行ってくださったり・・・。晋平にとって居心地の良い場所であることはもちろんのこと、親にとってもホッとできる場所になっています。

ただ、少し気になるのはスタッフの方々の待遇のこと。これについては日頃いろいろ検討されたり努力されたりしておられることも聞いておりますが、ぜひトムトムがこれから先もずっと続いていって欲しいと願うがゆえにより改善、向上されていかなくては・・・と感じています。



### 「放課後・お休み・どうしてる？」

諏訪利明先生の講演会を開きました。



去る1月28日に茅ヶ崎女性センターで諏訪利明先生の講演会が行われました。

諏訪先生は社会福祉法人県央福祉会・県央療育センターの先生であり、（現在は海老名市立わかば学園園長）「ハンディのある方たちの余暇支援について」というテーマの講演でした。県央療育センターでの実践からいくつかの具体的なエピソードをわかりやすく話していただき、約50名の参加者は皆熱心に聞き入っていました。トムトムでは、またこのような講演会をこれからも企画していきたいと思っています。（田尻）

#### ★参加者の声より（抜粋）

- ・全体にわかりやすく聞いていて、どんどん入ってきました。子どもがまだ小学生なのでどうしても目先のことにとらわれていましたが、年齢相応の余暇活動については心に残りました。
- ・うちは自閉症ではないのですが他の障害の

子にも共通することがあり、聞いていて楽しかった。

- ・余暇をみつけてやろうと肩に力が入っていましたが「本人の好きなことをやる」。それでいいのかなと思えてきました。
- ・子どもの余暇活動について、できっこないと思っていた遊びでも、視点を変えて、ルールを変えて、どのようにでも遊べるよう

に作り変えることができるとわかりました。頭をやわらかくして余暇活動のことを考えてみます。

- ・私の子どもは男の子で3年生ですが、今でも夏休みや1日の生活の中でぼーっとしているのを見ると「何か」させなくては、と思っているのにその事が「大人」になった時に・・・ということは、今の私には気づいていませんでした。「今の遊び」を年相応に移行させていこうかなという思いになりました。
- ・私は単に「この子たちだって枠からはみだすくらい（もうはみだしてるけど）楽しんでいいのでは？」と思っていたのですが、歯止めなくわがママを聞いてやることとの境界線は実は自分の中で不明瞭でした。先生のお話で年齢相応に（つまり当たり前）にその年齢の子が与えられる機会の量を経験させる+能力に応じてステップを踏むこと+自分ひとりではなく周りの人の援助つ

きでやれてOKなどなど、あいまいだった自己解釈に尺度をつけることができたような気がします。

- ・改めて母親自身の余暇の過ごし方を見直しながら、子どもの余暇を見つけていけたらなと思いました。
- ・具体的な事例のお話を伺って良かったです。私は今、上の娘と宝塚にはまっています。このステキな空間に、ハンディのある下の娘を連れて行く勇気が今はありません。（上の娘と今やっと二人の時間をもっていることもあるので。）出て行かなければ、相手側も改善されない、理解されないと解っていても。次回いつか、隅っこの席でドアのそばで連れて行けたらと思いました。自分の子の事が世の中でクリアされれば皆の為ですよネ。



## トムトムからのお知らせ



### 運営委員会をオープンにします

運営委員会は運営の中心機関です。でも、そこでどういう話し合いがなされているのか??? あまり知られていないのが実情です。今年度はこの運営委員会を「より身近なものに」と、利用会員の方々や賛助会員の方々にもオープンにしていきます。現在、運営委員10名で、よりよいサポートのために、原則として月に1度、話し合いがもたれています。「一度のぞいてみたい」という方、歓迎いたします。詳しい日程等はどうぞ、お問い合わせください。

### サマースクールのお知らせ

今年度は会員以外の方を対象に、形を変えて開催する予定です。詳細は現在検討中ですので、もうしばらくお待ちください。（もちろん、会員の方は普段通り、夏休みもパーソナルサービスをご利用いただけます。）

## 行政にアタック！！その④

4月20日、代表・常勤・会計で、茅ヶ崎市の障害福祉課へ出向いてきました。昨年トムトム立ち上げと同時に定期的に同課との話し合いを行っています。その4度目となる今回は、伊勢田部長と新しく着任された宇田川課長に対し、小一時間トムトムの現状や助成の必要について訴えてきました。反応はいつものように「市全体のいろいろなニーズの中で（トムトムのようなサービスは）緊急性が高いとはまだ言えない。」「だから必要なサービスだということはわかるけれど、そのための特別な助成制度を今、市が単独でつくる訳にはいかない。」といったようなことでした。まだまだ先は長そうですが、あきらめずに話し合いを続けていきたいと思っています。利用者の皆さんもぜひ「声を大」にして行政への働きかけをよろしく願いいたします。

## 臨時総会を開きます

5月18日（木）10時より、茅ヶ崎市農協会館にて行います。

議題は99年度決算報告及び2000年度補正予算（案）についてです。

（定例総会が会計年度末の前に行われたためです。）

利用会員や賛助会員の方も傍聴・発言は可能ですので、どうぞご参加ください。

総会后、利用者の方とスタッフの懇親会を予定しています。



## ボランティア 熱烈募集中です！！

近隣の方、ボランティアとしてお手伝いいただけませんか？

子どもが好きで、一緒に楽しく遊んでいただける方。特に火・木曜日の放課後～午後5時までの間はトムトムにたくさん子ども達がやってきます。その時間帯にお手伝いいただくと大変助かります。また、トムトムのお掃除や会報誌の発送など、事務的な仕事のお手伝いをしていただける方も募集しています。ご連絡をおまちしています。



## 1999年度7月発足以降、ご寄付・賛助会員 として御支援下さった方々

茅ヶ崎/寒川地区障害児者余暇支援準備委員会様・肢体不自由児者父母の会様・あめんぼうの会様  
佐藤様・伊藤様・佐藤様・山根様・田中様・津田様・高石様・松永様・益永様・高野様・中西様  
和田様・茅ヶ崎養護学校職員有志様・茅ヶ崎/寒川地区障害児支援実行委員会様・鳴口様・小黒様  
大野木様・松田様・津田様・長崎様・西澤様・吉田様・松尾様・高橋様・小山様・高田様・萩原様  
湘南地区民生委員様・円蔵一市民様・北九州復興教会(曾根教会)様・上野様・高野様・澤田様  
上野様・佐川様・石野様・岡本様・中上様・野坂様・遠藤様・売井坂様・飯森様・潮江様・安井様  
喜志様・石橋様・鈴木様・宮崎様・近藤様・新井様・小川様

寄付金・賛助会費合わせて1,770,834円でした。これらの収入は運用資金とさせていただきます。

このほか、物品寄付、お掃除など、多方面からご支援下さった方々も沢山いらっしゃいます。トムトム運営委員及び職員一同、心より感謝しております。ありがとうございました。

こうした皆様の熱いご厚意に支えられ、トムトムは4月を迎えて、ひとまず1999年度を乗

り切ることができました。トムトムの現状は、日増しに利用者が増える一方、従来のサービス維持のためにスタッフを増やすなど、体制を拡大する反面、経営的には相変わらず非常に不安定で、厳しい状態にあります。もちろん、トムトム側も行政には訴えかけてはおりますが、継続的な助成金の見通しは、全くついていません・・・。

利用者側の多額な費用の負担、常勤の労働者法定最低賃金を下回るかいなやの給与、これではこの先ともに、行き倒れは免れないでしょう・・・利用者の需要が増えている現状の中でも、こうした事業は、助成金なしでは続けられないのです。継続的な助成金が保証される前に行き倒れになることをなんとか避けるためにも、今後とも何卒、皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(会計：藤田)



### 賛助会員を募集しています！

賛助会員年会費は個人・団体共に一口3,000円です。会員になられた方には、定期的にトムトム通信を送らせて頂きます。よろしくお願い致します。

# Thanks!!

### ボランティアの方々

今田様・中島様・金子様・池田様・関様・荒牧様・森谷様・岩崎様・星澤様・近藤様・小山様・潮江様・井上様・坂田様・青少年指導員様・島崎様・西澤様・高田様・坂本様・田中様・安田様

### — 編集後記 —

- ・神奈川県福祉施設でまた、いやな事件があったと報道がありました。ひとりひとりの職員が自分の仕事にプライドを持っていたなら、起こるはずもない事件だと思うのですが。(K)
- ・先日、運営委員でトムトムの大掃除をしました。主婦数名、一心不乱に大掃除の図・・・その集中力たるや、怖くて近寄れないほどでした。ピカピカになった後で皆の深いため息。「私って、本当は掃除が好きだったのね。」「今まで、全然気づかなかったわ。」・・・運営委員のみなさん、自分ちもたまにはやりましょうね。(苦笑)(T)

### 「トムトム」へのお問い合わせは、お気軽に！

〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 1624-2  
TEL/FAX (0467) 58-8335  
緊急用携帯電話 (090) 4625-5767  
郵便局口座番号 10250-75536841 《名義：パーソナルサービスセンター「トムトム」》  
ホームページ [http://www.05.u-page.so-net.ne.jp/gf6/tom\\_tom/](http://www.05.u-page.so-net.ne.jp/gf6/tom_tom/)  
Eメール [tom\\_tom@gf6.so-net.ne.jp](mailto:tom_tom@gf6.so-net.ne.jp)